



SAP Ariba 

機能の概要

Catalog Content API の機能強化

Jaideep Tungare、SAP Ariba
一般提供予定: 2020 年 5 月

CONFIDENTIAL

機能の概要

説明: Catalog Content API の機能強化

導入の難易度
対象エリア

ロータッチ/容易
グローバル

今までの課題

Catalog Content API では現在、カタログ外品目を含む品目ごとの契約から生成されたカタログ登録に関する情報を、お客様が抽出することはできません。このため、そのようなカタログ登録が大量にあるお客様の場合、Catalog Content API の機能は大幅に制限されます。

SAP Ariba で問題解決

この機能では、カタログ外品目を含む品目ごとの契約から生成されたカタログ登録に関する情報を要求および受信するために、Catalog Content API の機能が強化されます。

主なメリット

お客様は、Catalog Content API を使用してより包括的にカタログを受信できるようになりました。抽出内容には、品目ごとの契約から生成されるカタログ登録に関する情報が含まれます。

対象ソリューション

SAP Ariba Catalog
SAP Ariba Buying
SAP Ariba Buying and Invoicing
SAP Ariba Invoice Management

関連情報

この機能は、該当ソリューションを使用しているすべてのお客様に対して自動的にオンになっており、すぐに使用できます。

前提条件と制限事項

SAP Ariba Developer Portal へのアクセス権
この API に対して行われたクエリはすべて、OAuth 認証によって認証される必要があります。

機能の概要

説明: Catalog Content API の機能強化

機能の詳細情報

カタログ外品目を含む品目ごとの契約から生成されるカタログ登録が、

GET /catalogs?date={YYYY-MM-DDThh:mm:ss} エンドポイントを使用したカタログの要求に対する応答に含まれるようになりました。

GET /catalogname/{CatalogName}/supplierid/{Domain:Value}/items エンドポイントを使用してカタログ品目を要求した場合、select パラメータで以下のカタログフィールドが指定されるようになりました。

- ApplicableContracts
- PriceConfiguration

これらのフィールドは、該当するすべての品目に対して応答に含まれます。